



Rotary 古河東

Weekly Bulletin

2020.4.21

4月の強調月間『母子の健康月間』

会長 江口紀久江 幹事 松本幸子

会長の時間

2019-20 年度会長 江口紀久江



4月8日、地球と月の距離が近づき（35万7000km）満月が大きく見える「スーパームーン」

皆さんご覧になりましたか？心が和むひと時でした。また、先日は散歩中にキジに出逢いました。普段、車で通りすぎる所も歩いてみると草花など身近な自然にふれられますネ！

「コロナめ、早く収束しないと月に代わっておしおきよ！！」（セーオームーン）



報告事項

◆ 岡村裕太 次年度幹事

[Zoomで被選理事会]

4月10日（金）午後7時より、Zoomにて第3回被選理事会を開催しました。

Zoomのナビゲーターとして鶴岡学会員にも参加・協力を頂きました。またオブザーバーとして山崎PDGにも参加していただきました。

Zoomで行うのが初めてのことなので、理事会の内容云々よりZoomの操作がメインとなりましたが、総勢12名（江口会長は画像無しですが・・・）の参加となり、これまでの古河東のZoom会議で最大の参加人数ではないかと思えます。今後もこうしたツールを積極的に活用していきたいと思えます。



[1] 福田優子さん

令和2年3月3日の例会で予定していたリリーススピーチ「私の近況報告」 福田優子

昨年3月まで、四人暮らし（私、夫、舅、姑）でしたが、3月に次男一家（3人）と2年限定の同居（つまり7人）が始まりました。そして5月、次男に長女が誕生（8人）。

そんな中、舅が10月に倒れて入院（7人）。11月には緩和ケア病棟に移り、退院はできない状況となってしまいました。

そこに、里帰り出産のため娘夫婦と子供が来ました（10人）。娘は切迫早産のため緊急入院。赤ちゃんは無事産まれましたが、娘はしばらく入院のため、私は婿殿と1歳5か月の孫のお世話をする事になりました。帰宅時間に合わせて孫のお風呂、夕ご飯の準備。洗濯物もご飯も大量です。毎日ワイシャツにアイロンをかけ、翌日の保育園の準備と、午後10時ごろまで家事でした。

12月に入り、娘は床上げしました（11人）。年末の餅つきや正月の準備も11人分やりました。

今年の1月と2月は婿殿が長期出張と決まっていたので、娘は床上げ後も家にいることになっていました。婿殿が出発した1月8日から、私は娘と孫二人と夜は一緒に寝ることにしましたが、新生児と、寝相の悪い孫のため、眠れない日が続きました。

朝夕は、次男の5歳児と8か月の赤ちゃん、娘の年子の赤ちゃんの世話で、てんてこ舞い。一人が泣き出すとみんな泣くので、私は次男の子をおぶり、娘の長女を抱っこしてお守。新生児は姑が見ながら、食事もお嫁さんと娘を先に食べさせます。順番待ちで、食べた気がしませんでした。お風呂も孫の年齢順に入れて大騒ぎでした。

1月10日の午前2時、病院から急変の知らせがあり、舅が亡くなりました。皆様には大変お世話になりました。

もう、文字通り、まごまごでした。家には10人が同居、その上舅も亡くなり、どうなることかと心配でした。

通夜は、長男一家も自宅に来ました。孫5人を含む皆に五目御飯を作って食べさせ、通夜のお焼香が済むとすぐに帰宅させて、手分けして孫たちをお風呂に入れ、寝かせました。告別式も、お焼香が済み次第母子たちを自宅待機させ、何とか無事に終えました。

2月に入り、婿殿の出張も折り返しというところで、次男が娘に何かと文句を言うようになってしまい、娘が家に帰ると言い出しました。まさかの兄弟げんかの勃発に、婿殿からも心配のラインが来ました。万事休すと思いましたが、娘が帰宅しても子育てはできるというので、帰りました。

その時、娘が「弟から言われたことには腹が立ったけれど、いつまでも親に甘えてばかりいた自分がやる気になったから、逆に感謝している」と、私に言いました。立派に育ったなと思いました。こうして兄弟げんかは半日で無事終了。

やっと洗濯ばあさんから解放され、夜もゆっくり休めるようになりました。が、娘はうちから車で10分くらいのところに住んでいるので、今度は朝夕娘のところに行ってベビーシッター。そうこうしているうちに、舅の四十九日も無事に終えることができ、婿殿も出張から帰ってきました。

昨年11月から今年2月まで、とてつもなく濃い日々でした。こんな経験はもうできない、堪能しよう、感謝しようと思いましたが、現実は一日一日を指折り数えて早く過ぎるのを待っていました。

でも、こんな自分をこっそりほめてやりたいと思います。そして来年の今頃は、次男家族も引越越し、年寄りの3人暮らしになります。まちどおしいなあ(^▽^)

[2] 鶴岡学さん

入学おめでとう！



マスク姿での入学式でした

[3] 山崎清司 PDG

世界の危険地帯を歩く シリア

山崎清司

中東でも平和的でバックパッカーの聖地とも言われたシリア。いまは 10 年前から続く内戦のために国はメチャクチャ、IS も暴れまくり世界遺産のパルミラや北部の都市・アレッポは瓦礫と化した。

そんなシリアに 1990 年 4 月 3 日から 10 日間、リュックをかついで一周、人生の思い出をぎっしりつめこんで帰国した。時にボクは 49 歳、紅顔の美壮年だった。

社会主義国で喧嘩好き、テロ支援の危険国家、出発前はこんなイメージしか持ち合わせていなかったが、人々は開放的で友好的、親日的だった。

ボクを見ると「ヤバーン、ヤバーン」とうるさいほど寄ってきて取り囲まれ、時には身の危険を感じるほど、「あれ？オレ、アイドルかな」と錯覚するほどの人気であった。

旅先でもいろいろな人に会った。シリアの首都・ダマスカスで博物館を見学中、偶然日本人の奥様に遭遇した。聞くと旦那が JICA（国際協力機構）の仕事で当地に滞在中という。別れ際「明日、家で夕食でも」と誘われた。ボクにとっては願ってもないこと。翌日、野口ご夫妻が車で迎えに来た。野口さん、当地に来てから日本人旅行者と会うのは始めと懐かしがり、夜遅くまで話し込んだ。

シリア第 2 の都市・アレッポ。砂漠緑化の指導のため農林省（当時）から派遣されている高畑さんとは、パルミラの遺跡を散策中にであった。「アレッポに行くのか」と聞かれたので「4 日後に行く」と答えると「オレの家に来い。刺身用意して待ってる」と電話番号をくれた。これはうれしい。4 日後、アレッポ博物館のハミード・ハマード副館長を連れて高畑さんを訪ねた。高畑さん、シリアで買い集めた骨董品や遺物をハミードさんに鑑定してもらった。しかしほとんどが偽物。がっかりする高畑さん。でも気を取り直しておいしい夕食を出してくれた。

30 年前、この地を旅行する人はなかった。それだけに日本人同士、街であうと会話を交わし、すぐに友人になれた。その後、野口ご夫妻、高畑さんが帰国したと聞き、今度はお礼にボクが招待して食事をした。今でも賀状で交流している。



アパメア遺跡



ハマの水車
一番高いところに立つボク



アパメア博物館。
女学生に囲まれ、ご機嫌のボク

【古河東ゆきはなロータリー衛星クラブから】

【テストミーティング開催】

4月16日（木）午後8時から、衛星クラブでも、オンライン例会の本格実施に向けた Zoom でのテストミーティングが行われました。参加者は、衛星クラブから島田議長、ホスト役の海老沼クラブ奉仕委員長、古河東クラブから山崎 PDG、佐谷さん、鶴岡さん、齊藤の6名でした。Google ドキュメントを利用し、リアルタイムでアンケートを実施するといった試みもありました。（齊藤）



[山崎 PDG からのコメント : ポール・ハリスの誕生日によせて]

1868年4月19日、ロータリー創設者ポール・ハリスは、米国ウィスコンシン州ラシーンで誕生しました。その152回目の誕生日を記念して、古河東ゆきはなロータリー衛星クラブはオンライン例会開催を試行しました。



今後の予定

2019-2020 年度 RI マーク・ダニエル・マローニー会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

2019-2020 年度 古河東ロータリークラブ 江口紀久江 会長クラブスローガン「つなげる親睦 広がる奉仕」

2019-2020 年度 第 2820 地区 中村澄夫ガバナースローガン「人、学んで更なる奉仕」

◆ 古河東ロータリークラブ、古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ及び古河地区ローターアクトクラブの4月例会は、全て休止です。

◆ 原稿の送信先は e-mail megumi.saito@grace.ocn.ne.jp 又は FAX 0280-32-2450 (齊藤) までお願いします。

創 立 : 1982 年 (昭和 57 年 7 月 6 日) URL : <http://www.kogaeast.jp> 週報他、例会等の詳細情報はホームページをご覧ください。

例会日時 : 火曜日 (12:30~13:30) 例会場 : 古河商工会議所 3F (古河市鴻巣 1189-4) 電話 0280-48-6000 FAX 0280-48-6006

文 責 : 古河東ロータリークラブ会報 IT 委員会 [齊藤 (愛)・松井・白戸(里)]